

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 亀の子

目 次

1. 法人の目的	1
2. 亀の子の理念	1
3. 法人の基本方針	1
4. 事業の概略	2
5. 各事業部門	3
(1) 本部	
I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営	3
II. 経理部門	3
III. 地域福祉との連携	3
IV. 福祉避難拠点	4
V. 職員(人材)の育成	4
VI. 各種規程の新規作成・改定	7
VII. 法人運営会議	7
VIII. 情報公開	8
(2) 障がい者支援部門	
I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】	9
II. 日常生活支援【のほほん】	12
III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】	15
IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】	19
V. 福祉的就労支援【遊亀館】	22
VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】	25
VII. 住まいの支援【タートルホーム】	29
(3) 児童支援部門	
I. 保育支援【たから保育園】	30
II. 障がい児通所支援	
【かめっ子クラブ】	33
【かめっ子クラブⅡ】	35
(4) メンバーの家族との連携	37
(5) 苦情解決	37
(6) 職員	37
(7) 非常災害対策	38
6. 社会貢献活動	38

1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

3. 法人の基本方針

(1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

(2) 利用者援助の基本方針

- ① 利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ② 自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③ 亀の子セルプは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④ 「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤ 人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥ 苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦ 個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

4. 事業の概略

(1) 社会福祉事業 第二種

事業所名	事業名	定員	住所
亀の子サポートセンター	・特定相談支援事業 ・大田市委託相談支援事業 ・障がい児相談支援事業		大田市長久町長久口267番地6
のほほん	・地域活動支援センター ・島根県高次脳機能障がい者支援事業		大田市長久町長久口267番地6
亀の子工房	・就労継続支援 B 型	20名	大田市長久町長久口267番地6
遊亀館	・就労継続支援 A 型 ・就労移行支援	14名 6名	大田市長久町長久口267番地6
ふぁみりーわーく	・生活介護	20名	大田市長久町長久口335番地1
タートルホーム	・介護サービス包括型共同生活援助	10名	大田市長久町長久口267番地6
		5名	大田市長久町長久イ453番地10
		4名	大田市長久町長久口268番地18
たから保育園	・認可保育所	50名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブ	・放課後等デイサービス ・児童発達支援	10名	大田市長久町長久口267番地6
かめっ子クラブⅡ	・放課後等デイサービス	15名	大田市長久町長久口268番地2
ジョブ亀の子	・障害者就業・生活支援センター事業 (島根県事業)		大田市長久町長久口267番地6

(2) 公益事業

事業所名	事業名	住所
ジョブ亀の子	・障害者就業・生活支援センター事業 (雇用安定等事業)	大田市長久町長久口267番地6

5. 各事業部門

(1) 本部

I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営

社会福祉法人制度改革について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めるとともに、総務・人事・労務・教育・財務・経営を一体的に進めました。

II. 経理部門

社会福祉法人制度改革における財務規律の強化を図りました。

- ① 社会福祉法人新会計基準に則り、公益性を維持し、透明性の高い正確な会計処理に努めました。
- ② 予算に基づく適切な会計処理をし、適正かつ公正な支出の管理を行いました。
- ③ 就労支援事業は原価及び経費の見直し、コスト削減に努めました。
- ④ 公認会計士 桜井久氏に財務会計に係る情勢整備状況の点検及び適切な会計処理が行われているかどうか確認、指導を頂きました。
- ⑤ 財務状況並びに運営状況を明らかにし、法人の今後の中長期計画を立案しました。
- ⑥ 社会福祉充実残高を算出し、内部留保の明確化をしました。
- ⑦ 簡易課税の処理を正しく行いました。
- ⑧ 経理処理のソフトを活用し業務の効率化を図りました。

III. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした活動を行いました。

当法人施設は、経済・福祉団体等、様々な関係機関とも連携をとり、地域住民も参画し（ボランティアの協力）、共に共有、共存できる施設を目指しました。

1) 地域との連携で次の事項を実践しました。

- ① 大田市障がい者自立支援協議会に参画しました。
- ② 社会福祉協議会と連携し諸施策の実行を行いました。
- ③ 地域行事への参加
- ④ 施設行事へ地域住民の協力・参加（コロナウイルス対応のため中止）
- ⑤ 学生ボランティアの受け入れと交流
- ⑥ 市内中学校の体験実習の受け入れ（コロナウイルス対応のため主催者による中止）
- ⑦ 機関紙「亀の子」の発行
- ⑧ 福祉体験学習の場の提供（大学生・専門学校生の実習の受け入れ）
- ⑨ 大田商工会議所及び九号線長久商工振興会の活動に参加

2) 施設見学者・視察研修者

日付	来 所 者	人数
10.28	出雲養護学校邇摩分教室 生徒・教諭	2
10.30	出雲養護学校邇摩分教室 生徒・保護者・教諭	14
合 計		16

3) 体験等実習

日付	実 習 者	人数
8.3~20	島根大学人間科学部 学生	1
8.3~20	福岡子ども専門学校 学生	1
10.12~16	石見養護学校高等部 生徒	1
12.9~10	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 学生	2
合 計		5

IV. 福祉避難拠点

福祉避難所として、非常食や備品の整備に務めました。また、防災訓練を実施しました。

V. 職員（人材）の育成

1) 施設内研修

- ①法人職員としての接遇についての学習会を行いました。
- ②職員へ人権研修を行いました。
- ③新任職員研修を入社後4ヶ月以内に5回行いました。

研修名	実施月日	対象	参加人数
虐待防止・権利擁護伝達研修	6.5・6.9	障がい福祉職員	30
新職員等社内研修	6.10・17・24、 7.1、15	新任職員 他職員	15
社会福祉法人亀の子役員人権研修	12.25	理事・監事 等	9

2) 施設外研修

①亀の子サポートセンター

4講座に 延べ6名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
大田圏域精神保健福祉関係者等研修会	9.4
強度行動障がい支援者養成研修	9.8・9 9.28・29

大田圏域精神障がい者地域生活移行・地域定着支援関係者研修	11.25
ゲートキーパー研修会	1.22

②のほほん(高次脳機能障がい支援事業含む)

3講座に 延べ7名の職員が受講しました。

研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
高次脳関係職員研修会	10.8 11.26
「虐待防止・権利擁護」伝達研修	6.5, 6.9
新型コロナウイルス感染症について	12.15

③ふぁみりーわーく

4講座に 延べ9名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
「虐待防止・権利擁護」伝達研修	6.5
大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	11.26
サービス管理責任者更新研修	12.9

④亀の子工房

4講座に 延べ4名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	9.28・29
大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	11.26
障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.15

⑤遊亀館

3講座に 延べ6名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
相談支援従事者初任者研修	8.27~28 9.29 11.4~5
障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.15
そら豆、(株)魚の屋視察研修	3.9

⑥ジョブ亀の子

4 講座に 延べ 5 名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
就業支援基礎研修	8.26~28
第 1 回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	10.8
第 2 回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	11.26

⑦ターゲットホーム

1 講座に 2名の職員が受講しました。

研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
新型コロナウイルス感染症について	12.15

⑧たから保育園

7 講座に 延べ 20 名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】	7.1~7.3
主任保育士主幹保育教諭研修&食育推進研修合同研修会 (YouTube 配信)	11.21・ 12.5・ 12.12
保育者研修会(オンライン研修)	1.30

⑨かめっ子クラブ

9講座に 延べ12名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(初任者コース)	8.19~20
サービス管理責任者基礎研修・児童発達支援管理責任者基礎研修 (前期・後期)	10.14 11.19~20
発達障がい地域啓発セミナー2020!〈毎日を作る技法〉	12.5

⑩かめっ子クラブⅡ

7講座に 延べ8名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)	8.19~20
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	9.28~29
サービス管理責任者更新研修・児童発達支援管理責任者更新研修	12.9

3) 主催研修

① 障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生（鳥取県立総合療育センター シニアディレクター）を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名	対象者	実施日	参加人数
実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」	対象児童の関係者等	9.18	12

② 高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県より委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

研修内容	対象者	実施日	参加人数
高次脳機能障がいと認知症の方の心理 講師：高橋 幸男 氏 （エスポアール出雲クリニック 院長）	障がい福祉・高年齢福祉・行政関係者等	10.8	25
支援の本質を考える～虐待を予防するために～ 講師：阪田 健嗣 氏 （島根県社会福祉会 顧問）	障がい福祉・高年齢福祉・行政関係者等	11.26	32

③ ジョブ亀の子主催研修

ジョブ亀の子主催研修は、P.29に「ネットワーク強化・充実事業」として記載しております。

VI. 各種規程の新規作成・改定

各種法改正に基づき、運営規程の見直しを行い、修正・追加等を行いました。

VII. 法人運営会議

1) 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

	開催日				
理事会	6.12	9.25	12.25	3.26	
評議員会	6.26				
監査会	6.11				

2) 役職会議

構 成	役職員(理事長・副理事長・総括施設長・部長・次長)					
目 的	施設間の連絡、調整及び法人・施設運営が円滑に推進できるように調整を図る。					
開 催	4.27	5.25	6.26	7.22	8.25	9.25
	10.23	11.25	12.25	1.25	2.25	3.24

3) 虐待防止委員会

構 成	管理職・虐待防止マネージャー・看護師 (利用者代表・家族代表・第三者委員はコロナ対策で欠席)					
目 的	利用者児の虐待を未然に防ぐための、施設環境づくりを目指す。					
開 催	9.29	1.27				

4) 職員会議

構 成	各部門の職員						
目 的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。						
開 催	亀の子工房 のほほん タートルホーム	4.21	5.19	6.23	7.21	8.19	9.23
		10.20	11.16	12.17	1.19	2.19	3.19
	ふぁみりーわー く	4.17	5.15	6.19	7.17	8.21	9.18
		10.16	11.20	12.18	1.22	2.22	3.22
	遊亀館 ジョブ亀の子 亀の子サポ ートセンター	4.22	5.15	6.19	7.17	8.21	9.25
		10.16	11.20	12.17	1.21	2.18	3.18
	かめっ子クラブ	4.24	5.18	6.16	7.16	8.13	9.18
		10.20	11.17	12.16	1.15	2.19	3.15
	たから保育園	4.15	5.13	6.10	7.8	8.12	9.9
		10.14	11.11	12.9	1.13	2.10	3.10

VIII. 情報公開

法人の現況報告を WAM NET 及びホームページ上で情報公開を行いました。

(2) 障がい者支援部門

I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

1) 目的

障がい者(児)等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者(児)等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者(児)の自立と社会参加の促進又は、療育の推進が図られるよう支援する事を目的としています。

2) 方針

大田市で生活する、全ての障がい者(児)を対象とし、この地域の中でごく当たり前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援していきます。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所日及び時間

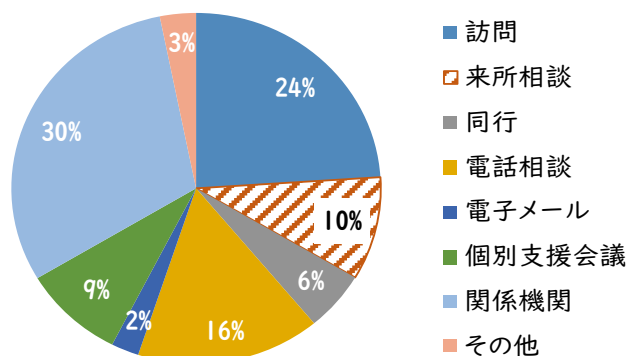
開所日：月曜～金曜日(但し、祝日及び12月31日～1月3日を除く)

相談時間：8時30分～17時30分(休日および左記時間以外は電話にて対応)

4) 生活相談事業

(単位:件 又は 人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
訪問	65	77	68	60	48	55	59	56	59	61	57	57	722	60.2
来所相談	20	18	19	37	21	30	28	17	21	37	12	26	286	23.8
同行	8	7	16	17	9	16	31	14	17	7	10	13	165	13.8
電話相談	61	37	50	42	30	47	33	33	39	51	28	34	485	40.4
電子メール	10	8	9	6	4	8	3	0	6	6	6	7	73	6.1
個別支援会議	20	21	21	25	25	15	21	27	22	19	29	24	269	22.4
関係機関	92	103	103	79	77	51	52	75	84	83	52	64	915	76.3
その他	3	4	3	7	13	4	5	14	9	8	16	9	95	7.9
計	279	275	289	273	227	226	232	236	257	272	210	234	3,010	250.8
実人数	93	89	86	91	83	95	95	95	87	105	88	96	185	91.9



5) 認定調査

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
件数	2	3	5	5	5	6	9	4	9	2	3	7	60	5.0

6) 相談実績

①実績内訳

(単位:延べ件数)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの利用等に関する支援	146	136	152	136	153	118	139	130	145	145	119	116	1,635
障がいや病状の理解に関する支援	4	3	4	6	7	3	6	8	6	9	5	6	67
健康・医療に関する支援	42	43	59	33	19	30	36	38	28	36	26	42	432
不安の解消・情緒安定に関する支援	30	32	15	24	25	39	33	16	39	14	18	23	308
保育・教育に関する支援	5	1	8	25	28	7	4	9	1	9	6	11	114
家族関係・人間関係に関する支援	59	69	51	57	42	49	22	42	48	39	22	37	537
家計・経済に関する支援	43	50	17	20	12	12	11	7	12	18	10	14	226
生活技術に関する支援	11	11	11	12	6	10	8	3	10	8	6	11	107
就労に関する支援	12	16	23	34	20	24	21	15	11	8	11	32	227
社会参加・余暇活動に関する支援	2	1	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	11
権利擁護に関する支援	1	0	2	2	0	1	0	1	0	0	1	2	10
住居に関する支援	6	7	8	5	3	3	5	0	3	9	6	6	61
地域生活移行・自立生活に関する支援	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
障害程度区分認定に関する支援	3	1	3	5	0	3	4	2	4	1	1	3	30
その他	22	3	7	26	9	16	13	20	29	19	26	25	215
合計	386	374	362	385	324	317	302	291	339	315	257	330	3,982

②計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	13	13	8	9	9	9	21	19	19	7	15	10	152
継続利用支援	42	44	34	34	28	32	35	35	39	31	28	38	420

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	8	5	2	5	3	5	3	6	3	8	6	2	56
継続利用支援	14	10	11	4	5	8	11	3	4	5	7	10	92

④支援対象契約者数

	年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
障がい者	116	23	14	125
障がい児	37	9	8	38
合計	153	32	22	163

7) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
出席者数	中止	中止	3	3	3	3		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
出席者数	3	3	3	3	3	3	30	

②その他

連絡会名等	参加回数	延べ参加者数
大田市自立支援協議会各部会	3	3
障害者就業・生活支援センター連絡会議	1	1
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議	2	2
ゆきみーる運営等検討会議	3	3
大田市地域福祉推進支援機関実務者会議	7	12
大田圏域子どもの診療ネットワーク会議	1	1

Ⅱ. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前に生きていける自信に繋がるように支援をおこないます。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ~ 16:00

4) 地域交流活動推進事業

①開館日数及び利用者数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	25	18	22	21	20	20	23	22	25	22	23	27	268
利用者数	60	53	54	58	64	64	65	73	67	74	68	75	120
延べ利用者	351	308	339	366	344	379	407	370	408	383	353	500	4,508

1日あたり平均利用者数:16.8人

②月例行事

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ	平均
お茶会	24	410	17.1
カラオケ	29	349	12.0
ミュージック・ケア	22	242	11.0
脳トレ	24	168	7.0
料理教室・クッキング	2	14	7.0
ゲーム	33	261	7.9
スポレク	24	198	8.3
創作活動	16	108	6.8
エアロビクス	11	175	15.9
のほほんシアター	16	127	7.9
Myカレンダー作り	12	91	7.6
紙芝居	10	86	8.6
川柳を読もう	12	85	7.1
歴史を学ぼう	6	81	13.5

月例行事	開催数	延べ	平均
らくらく体操	11	89	8.1
SST	5	43	8.6
エコ活動	6	26	4.3
むかしの遊び	3	20	6.7
合 計	266	2,573	9.7

③各月行事

月	内容	参加人数
4月	お花見	コロナのため中止
5月	水害避難訓練	6
6月	ボウリング大会(他施設と合同)	コロナのため中止
8月	Let`s play English 納涼祭(法人全体行事)	6 コロナのため中止
9月	消防訓練 大田市障がい者スポーツ大会	4 コロナのため中止
1月	ミーティング(新年の抱負) 餅つき 五十猛町のグロに参加	5 5 コロナのため中止
2月	節分会	15
3月	消防訓練 ひな祭り	3 7
合計	13 件	51

5) 高次脳機能障害者支援拠点事業

①支援対象者

(令和2年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0	0	1	2	5	12	0	20
女性	0	0	0	4	1	1	1	7
計	0	0	1	6	7	13	1	27

②新規相談者数

実人員	医療機関	障がい者支援事業所	介護保険事業所	保健所	市町村	その他	なし
5	3	1	0	0	0	1	0

③相談延べ件数

	電話	来所	訪問	メール 書簡	その他	計
本人	17	131	28	40	15	231
家族	9	3	1	6	0	19
関係機関	62	10	11	0	1	84
計	88	144	40	46	16	334

④大田圏域支援ネットワーク会議

	開催日	会場	参加者数
第1回	R2.6.19	県央保健所 集団指導室	コロナのため中止
第2回	R2.9.23	悠邑ふるさと会館 マルチホール	15名
第3回	R3.1.22	県央保健所 集団指導室	20名

⑤圏域研修会開催

島根県の委託を受け、2回実施しました。詳細は、P.8にて掲載しております。

⑥会議参加状況

会議名	参加回数
島根県障がい者自立支援協議会高次脳障がい者支援部会	1
出雲パワーネット会議	2
中部地域コーディネーター会議	1
浜田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議	2

⑦高次脳家族の集い実績

開催 日	内容	参加者				
		当事者	家族	ボラン ティア	支援者	計
6.26	コロナウイルス対策の為中止。					
9月	コロナウイルス対策の為中止。					
1.15	①生活習慣病1 ②コロナウイルス感染予防について	6	2	0	2	10
3.18	①生活習慣病2 ②口腔ケア	8	1	1	2	12

⑧高次脳機能障がい者支援コーディネーター

加納 靖浩

Ⅲ. 介護支援【ふぁみりーわーく】(生活介護事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、SST等を活用して個々の生活能力の向上に努めます。
- ②傾聴に努め、体力維持や認知症予防の支援をします。
- ③軽作業等を通して、コミュニケーション力を養い達成感を持ち社会の一員としての役割が持てるように支援をします。
- ④レクリエーション活動を通じて、楽しみや充実感を持てるように支援をします。
- ⑤地域で生き生きと暮らせるよう、地域の行事や活動に参加し地域貢献に繋がります。
- ⑥個々のニーズに沿った個別支援計画を立案し、夢を語れるよう支援します。

以上の支援方針に従って支援をおこないました。

2) 支援時間

9:00 ~ 16:00 (原則的に11:45~13:00を昼食時間とする。)

3) 事業内容及び成果

①事業内容

- 身体機能の低下を予防するための、健康体操やウォーキングなどの体力作りの実施
- 認知症予防のために、脳トレーニングの実施
- 毎日のバイタルチェック、医師・看護師等による健康管理の実施
- レク活動(ドラムサークル、軽スポーツ、カラオケ、シアター等)の実施
- 農作業・軽作業(袋詰め・シール貼り等)の実施
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施
- 料理教室・買い物の訓練を実施
- 必要に応じた個別対応として、パソコンの使い方、出納簿の記入の練習の実施
- 適切な買い物ができるよう、買い物支援の実施
- 清潔保持の為、グループホーム世話人や家族と連携を取り、声かけや見守りの実施
- SST教室の実施
- 福祉サービスの主体的申請の実施
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた

②成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、達成感を持ち主体的に活動し、楽しみや生きがいに繋がりました。
- ウォーキングを毎日する事で、体力や筋力の向上と、体重の減少に繋がりました。
- 嘱託医の健康相談や毎日の健康管理により、健康面での意識の向上が図られ、必要な方には専門医の受診が速やかに行うことができました。
- SSTでのロールプレイを通して、コミュニケーション力や日常生活の技能の向上が見られました。
- 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。

た。

○送迎支援により、意欲の低下した方や足腰の弱い方、遠方の方の利用が可能となり、生活リズムや体調を整えることができ、継続して地域生活を送ることができました。

○福祉制度について、勉強する機会を持つことで、自分のこととして意識し主体的に更新申請をする意識の向上が見られました。

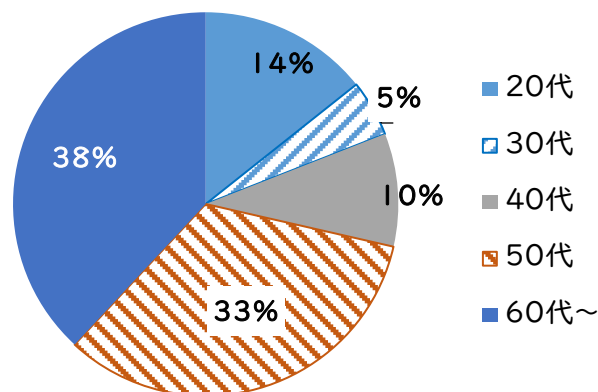
○大田市ボランティアセンターの「応援グッズ作成ボランティア」の活動に参加し、マスクを作り1年間で、64枚届けました。

○長久まちづくりセンターの高齢者の集いに「ブームワッカー」で2回交流をして好評を博しました。地域貢献に努めることができました。

③利用者年齢別構成表(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
男性	2	0	1	6	4	13	52歳 4か月
女性	1	1	1	1	4	8	53歳 6か月
計	3	1	2	7	8	21	52歳 9か月



④利用年数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	3	5	1	4	13	3年8か月
女性	0	2	1	5	8	5年8か月
合計	3	7	2	9	21	4年5か月

⑤利用者の主な障がい種別

障がい種別	精神	知的	身体	その他
人数	14名	4名	3名	0名
割合	66.7%	19.0%	14.3%	0.0%

⑥利用者手帳所持者数(令和3年3月31日現在) (単位:人)

	精神 1級	精神 2級	精神 3級	療育 A	療育 B	身体 2~5級	なし	合計
男性	1	7	0	0	2	3	1	14
女性	4	1	0	0	2	0	0	7
計	5	8	0	0	4	3	1	21

⑦平均利用日数 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	20	22	23	22	21	23	21	23	20	19	23	21.6
登録者数	21	20	20	20	20	20	19	19	19	19	21	21	19.9
延べ 利用者数	399	352	393	406	375	378	403	346	412	342	357	427	382.5
1日当り 利用者数	18.1	17.6	17.8	17.7	17.0	18.0	17.5	16.5	17.9	17.1	18.8	18.6	16.9

⑧利用者推移

○利用者推移表 (単位:人)

年度初	新規通所	退所	年度末
21	3	3	21

○退所者の行先

他の生活介護事業所・入院・死亡

⑨研修(土曜日勉強会)

日付	内容	参加者
4.18	福祉制度について学ぼう	18
5.4	熱中症予防対策について	18
7.18	交通安全教室(大田警察署)	18
7.25	体力測定	17
8.15	平和学習(映画:一番電車が走った)	15
8.22	人権学習(講師:ふれあい会館 石橋館長)	17
9.19	防災について	18
11.14	三瓶でグランドゴルフを楽しもう	16
11.21	クリーン活動	19
1.16	新年の抱負を川柳で詠もう	18
2.20	人権学習「みんなで幸せになろう」 (人権擁護委員さんとの交流)	18

⑩行事

月日	実施内容
4.3	花見
6月	ボウリング大会（コロナ対応のため中止）
8月	納涼祭（コロナ対応のため中止）
9月	大田市障がい者スポーツ大会（コロナ対応のため中止）
9.8	消防訓練
10.3	亀の子祭「ご祈祷会」（瑞應寺オンライン法話）
12.6	「障がい者の日」啓発事業ふれあいフェスティバル （コロナ対応のため中止）
12.19	忘年会
1.6	もちつき大会
3.24	消防訓練

IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援 B 型事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促します。
 - ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援します。
 - ③一人ひとりに合った個別支援計画を立案し、それに従った支援を行います。
- 以上の支援方針に従って支援をおこないました。

2) 作業時間

9:00 ~ 16:00(原則的に12:00~13:00を昼食時間とする。)

3) 事業実施内容及び成果

①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携・調整し、野菜の加工にも取り組んで地産地消に貢献しました。
- ・既存商品の生産量を増やし、高齢者施設への納品や個人宅への訪問販売を行いました。

②豆腐工房

- ・地元スーパーへの納品、企業や個人宅への訪問販売を通して、地元との繋がりを大切に継続して販売を行いました。
- ・学校給食センターと連携して地産地消の推進を行い、豆腐だけでなく、厚揚げ、豆乳や水煮など大豆製品を幅広く使用してもらう事で地元食材のアピールをすることができました。

4) 研修

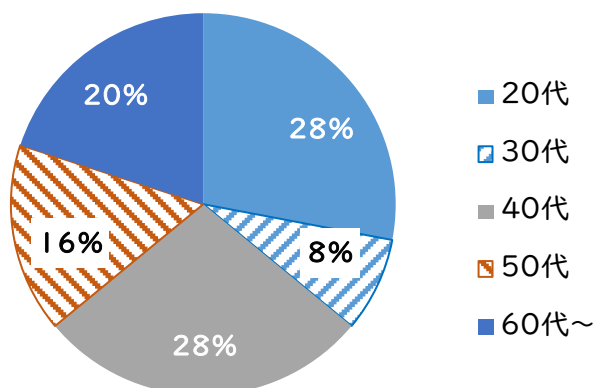
- ①第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

日付	内容	参加者
4.18	福祉制度を知ろう	13
5.4	熱中症予防対策について	16
5.5	豆腐工房・給食工房作業体験	16
7.18	交通安全教室(大田警察署)	17
8.15	平和学習(長崎原爆体験について)	14
8.21	人権学習(講師:ふれあい会館職員)	14
9.19	私の利用計画を立てよう	16
11.14	大田市を知ろう(三瓶埋没林について)	18
1.16	新年の抱負 川柳にのせて	19
2.20	人権学習(講師:人権擁護委員)	17

②研修旅行 新型コロナウイルス対策のため中止。

5) 利用者年齢別構成表(令和3年3月31日現在) (単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60~	計	平均年齢
男性	5	2	1	2	3	13	43歳3か月
女性	2	0	6	2	2	12	45歳1か月
計	7	2	7	4	5	25	44歳1か月



6) 利用者の主な障がい種別(令和3年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳	発達
人数	11名	9名	1名	3名	1名
割合	44%	36%	4%	12%	4%

7) 利用年数(令和3年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	2	2	2	7	13	6年3か月
女性	1	2	4	5	12	5年4か月
計	3	4	6	12	25	5年9か月

8) 利用者手帳所持者数(令和3年3月31日現在) (単位:人)

	精神1級	精神2級	精神3級	療育A	療育B	身体	手帳なし	合計
男性	0	6	0	0	5	1	1	13
女性	0	7	0	0	4	1	0	12
計	0	13	0	0	9	2	1	25

9) 平均利用日数【定員20名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	20	22	23	22	21	23	21	23	20	19	23	21.6
登録者数	25	25	25	25	25	25	25	26	27	26	25	25	25.3
延べ 利用者数	425	394	433	449	415	407	454	409	455	382	375	462	421.7
1日当り 利用者数	19.3	19.7	19.7	19.5	18.9	19.4	19.7	19.5	19.8	19.1	19.7	20.1	19.5

10) 利用者推移

(単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
25	3	4	24

注) 退所者の行先は、生活介護事業(1名)・就職(1名)・就労継続支援A型(1名)・その他(1名)

11) 利用者の平均工賃

時給 278円(前年度253円) 月額平均 15,324円

12) 行事

月日	実施内容
4.3	花見&グランドゴルフ大会 (コロナ対応のため中止)
6月	ボウリング大会 (コロナ対応のため中止)
8月	納涼祭 (コロナ対応のため中止)
9月	大田市障がい者スポーツ大会 (コロナ対応のため中止)
9.8	消防訓練
10.3	亀の子祭「ご祈祷会」(瑞應寺オンライン法話)
12.6	「障がい者の日」啓発事業ふれあいフェスティバル (コロナ対応のため中止)
12.19	忘年会
1.6	もちつき大会
3.25	消防訓練

V. 福祉的就労支援【遊亀館】（就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業）

1) 支援方針

- ①障がい者が雇用や職業訓練及び職場実習の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援します。
- ②利用者（顧客）へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めます。

以上の支援方針に従って支援を行いました。

2) 利用時間

8:30 ~ 17:30

3) 利用者人数と賃金（R3 年3月末現在）

- ①23名（就労継続支援A型14名・就労移行支援9名）
- ②時給792円 就労継続支援A型従業員月額平均賃金 74,370円

4) 活動の報告

- ①就労アセスメントを行いました。
- ②個別支援計画に基づいた就労の提供及び支援を行いました。
- ③生活支援・健康管理・就労支援を行いました。
- ④年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑤職場実習の受け入れを行いました。
- ⑥そら豆（就労継続支援事業所）・（株）魚の屋へ視察研修に行きました。
- ⑦地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑧第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

部門別

事業	内容
就労継続支援A型	<p>【配食サービス】 一般、高齢者に対応した配食サービスを実施し、出雲養護学校邇摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施しました。</p> <p>【委託業務】 株式会社魚の屋の業務委託として最中スープの製造をしました。大田市の業務委託として長久公園の草刈りを年4回行いました。</p> <p>【施設外就労】 法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。また、農福連携事業としてぶどう園にて農作業を行いました。</p>

事業	内容
就労移行支援	月間の予定表を作成し、それに沿って就労に必要な知識・技能・体力を身に着けるための訓練を行いました。

5) 利用者表 (令和 3 年 3 月 31 日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
就労継続支援A型	9	5	14
就労移行支援	6	3	9
計	15	8	23

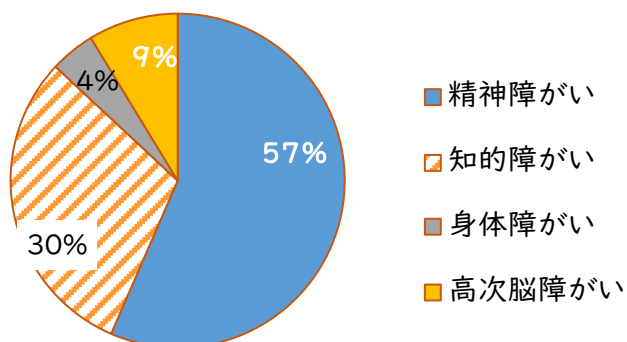
6) 部門別加入保険状況表 (令和 3 年 3 月 31 日現在) (単位:人)

就労継続支援A型	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	
配食サービス	8	0	8
施設外就労	6	1	6
合計	14	1	14

※施設外就労の従業員 1 名が社会保険・雇用保険とも加入のため重複

7) 利用者の主な障がい種別 (令和 3 年 3 月 31 日現在)

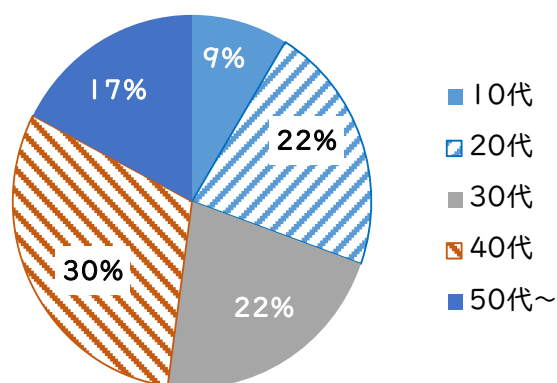
障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
就労継続支援 A 型	6名	6名	0名	2名
就労移行支援	7名	1名	1名	0名
合計人数	13名	7名	1名	2名
割合	57%	30%	4%	9%



8) 利用者年齢別構成表(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代~	計
男性	2	4	2	4	3	15
女性	0	1	3	3	1	8
合計	2	5	5	7	4	23



9) 利用者手帳所持者数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	1級	2級	3級	療育	身体	なし	合計
男性	0	6	3	3	1	2	15
女性	0	3	1	4	0	0	8
合計	0	9	4	7	1	2	23

10) 職場実習件数 33件

11) 職場実習受け入れ件数 7件

12) 利用者支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13) 利用者の健康管理

健康増進のための健康講座を実施いたしました。

14) 助成事業

中央競馬馬主社会福祉財団からの配分を受けて、高齢者向けのお弁当の配送車両として、「スズキ エブリイ JOIN」1台を配備いたしました。

VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

1) 目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

2) 事業の内容

- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センターにより行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。
- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦職場定着のための在職者の交流活動「パキラ」を年4回(9月、10月、12月、1月)開催しました。
- ⑧就職困難性が高い支援対象者に対し、多様で効果的な支援により就労促進を図るためピアサポート活動を年4回(8月、9月、12月、1月)開催しました。
- ⑨中小企業における障がい者支援担当者に対する支援を年2回(10月に2回)開催しました。
- ⑩大田市障がい者自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑪邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑫美郷町・川本町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑬島根県より障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)を受託し実施しました。
- ⑭島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。
- ⑮島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑯島根県より障がい者就労支援ネットワーク強化・充実事業を受託し実施しました。
- ⑰島根県より障がい者の仕事と生活の両立支援事業を受託し実施しました。
- ⑱島根県立邇摩高校における特別支援教育が必要な生徒に対する就業支援の指導及び助言を行いました。

3) 支援対象障がい者の状況

①登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職者	7	86	64	4	161
求職者	4	20	54	1	79
その他	1	1	4	0	6
合計	12	107	122	5	246

4) 障がい者に対する支援の実施状況

①支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	818
電話・メール	1,497
職場訪問	1,146
家庭・施設への訪問	206
その他	554
合計	4,221

②支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別)

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
就職に向けた相談や支援	30	251	809	26	1,116
職場定着に向けた相談・支援	43	655	837	61	1,596
日常生活・社会生活に関する相談・支援	19	230	266	7	522
就業と生活の両方にわたる相談・支援	11	560	405	11	987
合計	103	1,696	2,317	105	4,221

③支援対象障がい者の就職件数

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般 (30時間以上)	1	3	8	1	13
短時間(20時間以上 30時間未満)	0	6	3	0	9
短時間 (20時間未満)	1	0	2	0	3
合計	2	9	13	1	25

④支援対象障がい者の実習件数

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
3日以上の実習	2	12	55	2	71

5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

①相談・支援を行った事業所数・・・189 事業所

②相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	43
電話・メール	452
企業訪問	1,169
その他	41
合計	1,705

6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

第1回連絡会議 ……コロナで開催中止

第2回連絡会議開催……令和3年2月19日(金) 於:大田商工会議所

参加:38機関 42名

7) 職場定着促進のための在職者の交流活動「パキラ」

	開催日	内容	参加者数
第1回	9月12日(土)	勉強会「いきいきと地元で働く」	13名
第2回	10月10日(土)	健康講座「健康に働くために」	13名
第3回	12月6日(日)	冠婚葬祭マナー講座	8名
第4回	1月9日(土)	勉強会「今年の抱負」	10名

8) ピアサポート活動

	開催日	内容	参加者数
第1回	8月22日(土)	一般就労された方から学ぶ会	19名
第2回	9月19日(土)	一般就労された方との交流会	20名
第3回	12月22日(火)	石見養護学校 卒業生から学ぶ会	在校生 20名
第4回	1月20日(水)	障がい者一般就労体験発表会	53名

9) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援

	開催日	内容	参加者数
第1回	10月14日(水)	障がい者雇用促進研修会	11名
第2回	10月27日(火)	邑南町雇用促進連絡会	7企業

10) ネットワーク強化・充実事業

①「障がい者雇用促進研修会」

日 時：令和2年10月14日(水)

場 所：ハローワーク川本

参加者：11事業所 11名

②「障がい者一般就労体験発表会」

日 時：令和3年1月20日(水)

場 所：大田市民センター

参加者：53名

③「障がい者雇用事業所視察研修」

日 時：令和3年3月9日(火)

場 所：ジョイワークみさと(就労継続支援B型:そら豆配食サービス)
株式会社魚の屋

参加者：17名

11) 障がい者の仕事と生活の両立支援事業

	開催日	内容	参加者数
第1回	9月12日(土)	勉強会「日本遺産を学ぼう」 神楽鑑賞	13名
第2回	10月10日(土)	軽スポーツ 「ラダーゲッター、カローリング」	13名
第3回	11月 7日(土)	日帰りバス旅行(津和野)	19名
第4回	12月 6日(日)	書道「手書き年賀状」	8名
第5回	1月 9日(土)	勉強会「コロナ禍の生活で気を付けた い事」	10名
第6回	2月13日(土)	室内レクリエーション「3B体操」	10名

Ⅶ. 住まいの支援【タートルホーム】(介護サービス包括型共同生活援助事業)

1) 基本方針

- ①サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。
- ②将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をします。

以上の基本方針に従って支援をおこないました。

2) 共同住居定員

住居名	タートルホーム	コーポ亀の子Ⅱ	コーポ亀の子Ⅲ
定員	10名	5名	4名

3) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
19名	19名	1名	1名	19名

4) 入居者構成表(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	80代	計	平均年齢
男性	3	1	1	2	3	1	11	49歳 4か月
女性	0	0	3	0	5	0	8	56歳 7か月
合計	3	1	4	2	8	1	19	52歳 5か月

5) 入居年数(令和3年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	1	2	2	6	11	6年 6か月
女性	0	2	1	5	8	7年 3か月
合計	1	4	3	11	19	6年 9か月

6) 利用者の主な障がい種別

(令和2年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
人数	12名	7名	0名	0名
割合	63.1%	36.8%	0%	0%

7) 福祉サービス等利用先

(単位:人)

一般就労	遊亀館	亀の子工房	ふぁみりーわーく	合計
4	2	5	8	19

8) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。
- 毎月入浴支援や料理教室を実施しました。
- 土日も職員が常勤し、住人の困り事などその都度対応に努めました。

(3) 児童支援部門

I. 保育支援【たから保育園】(認可保育所)

1) 保育方針

- ①子どもの信頼関係を大切に、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切に、様々な人との交流の場を広げます。

以上の保育方針に従って支援をおこないました。

2) 保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

3) 保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(有料)(休止) 8:30～16:30

4) 職員構成

(単位:人)

園長	副園長	主任	保育職員		栄養士	調理員	看護師	事務	計
			常勤	非常勤					
1	1	1	8	7	1	2	1	1	23

顧問医:やまうち内科 山内院長

顧問歯科医:中村歯科クリニック 中村院長

5) 保育人数

- ①通常保育(令和3年3月) (単位:人)

0歳児 びしゃもん	1歳児 ふくろく	2歳児 べんてん	3歳児 ほてい	4歳児 えびす	5歳児 だいこく	合計	保育 定員
9	8	10	11	11	13	62	50

②障がい児保育事業

- ・令和2年度…該当者なし

③延長保育事業

- ・令和2年度…249名(延人数)

④一時保育事業

- ・令和2年度…(休止)

⑤病児保育【体調不良児対応型】

- ・令和2年度…1名(延人数)

6) 保育園行事

行事	実施日	場所	参加者
入園・進級式	4月4日	たから保育園	入園児7名・保護者 来賓無し
礼拝	2回実施	瑞応寺	5歳児
誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
お茶のおけいこ	6回実施	たから保育園	5歳児
英語教室	13回実施	たから保育園	全園児
お弁当の日 (散歩遠足)	9回実施	保育園近辺	全園児
新入園児歓迎会	4月14日	たから保育園	全園児
花まつり	5月15日	たから保育園	全園児
交通安全教室	中止	たから保育園	
七夕・夏祭り会	7月7日	たから保育園	全園児
祖父母参観	中止	たから保育園	
運動会	10月17日	総合体育館	3歳児～5歳児 保護者
親子遠足	11月2日	三瓶自然観サヒメル	3歳児～5歳児 保護者
保育参加	中止	たから保育園	
餅つき会	12月4日	たから保育園	5歳児
クリスマス会	12月24日	たから保育園	全園児
お楽しみ会	1月16日	たから保育園	3歳児～5歳児 保護者 クラス入れ替え制
節分会	2月2日	たから保育園	全園児
ひな祭り会	3月3日	たから保育園	全園児
お別れ会	3月15日	たから保育園	全園児
卒園式・親子茶会	3月20日	たから保育園	卒園児13名・保護者 在園児・来賓なし
お別れ遠足	3月22日	保育園近辺	全園児
身体測定	毎月実施	たから保育園	全園児
歯科検診	9月10日	たから保育園	全園児
内科検診	11月・3月	たから保育園	全園児
防災・消火避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	中止	たから保育園	

○すべての行事が新型コロナウイルス感染拡大予防のため、規模縮小したり、中止になりました。

○お茶のおけいこは8回予定だったが、5回のお稽古と親子茶会の6回しか実施でき

ませんでした。しかしとても上手にお点前ができるようになりました。親子茶会では、新型コロナウイルス感染予防のため、2部屋使用して2家族ずつのおもてなしとなり、時間も短縮出来てよかったと思います。

○新型コロナウイルス感染拡大予防のため七夕夏祭り会は保護者参加なしの園児行事となり、様子をビデオ撮影や写真で保護者に伝えることができました。

○園内運動会・親子遠足・お楽しみ会は予防対策をしたうえで、幼児組のみ保護者参加をしてもらいながら実施できました。

7) 地域活動事業

①世代間交流・・・新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

②異年齢児交流

開催日	内容
4月12日	新入園児歓迎会
11月2日	親子遠足
7月7日	七夕・夏祭り会
10月17日	運動会
12月24日	クリスマス会
3月3日	ひな祭り
3月22日	お別れ遠足
3月15日	お別れ会

③地域交流・・・新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

Ⅱ. 障がい児通所支援

【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

- ①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。
- ②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所日

- ①放課後等デイサービス事業：月曜日～土曜日
 - ②児童発達支援事業：月曜日～金曜日
- 但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/31～1/3)を除く

4) 開所時間

- ①児童発達支援事業 9:00～13:30
 - ②放課後等デイサービス事業
平日 14:00～18:00
学校休業日 8:30～16:30
- (但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域：大田市全域

6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

7) 行事

開催月	内容	コロナ対応のため中止事業
4月		お花見
5月	端午の節句・水害避難訓練	消防署見学
6月	虫歯予防デイ	
7月	七夕会・プール遊び	陶芸教室・海水浴
8月	プール遊び・紙すき・ レッツ プレイ イングリッシュ	

開催月	内容	コロナ対応のため中止事業
9月	火災総合訓練	
10月		亀の子祭参加・マジックショー
12月	クリスマス会・凧作り・大掃除	
1月	書初め・凧あげ	
2月	節分	
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お別れ会	
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・誕生会	

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2事業所合同で行う行事については、中止や規模縮小して行いました。

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。(コロナウイルス対策のため3回予定をしていましたが、1回の開催となりました)
- ③島根県自閉症協会大田地区部会、めだか教室に職員が参加しました。

9) 利用児童数

①放課後等デイサービス事業

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	25	25	24	27	23	26	23	22	26	24.5
利用児童数	12	12	11	12	14	12	12	14	14	14	15	16	13
延べ利用児童数	211	188	228	229	254	232	254	217	265	229	225	291	235
1日当り利用児童数	8.4	8.2	8.8	9.2	10.2	9.7	9.4	9.4	10.2	10.0	10.2	11.2	9.6

②児童発達支援事業

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	9	7	13	14	15	12	16	14	15	10	13	14	12.6
利用児童数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
延べ利用児童数	9	7	13	14	15	12	16	14	15	10	13	14	12.6
1日当り利用児童数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/31～1/3)を除く

4) 開所時間

平日 14:00～18:00

学校休業日 8:30～16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域：大田市全域

6) 利用定員 15名

7) 行事

開催月	内容	コロナ対応のため中止事業
4月	誕生会	
5月	水害避難訓練・誕生会	
6月	むし歯予防デイ・誕生会	親子遠足
7月	七夕会・プール遊び・誕生会	陶芸教室・海水浴・クッキング・地域の高校生との交流
8月	プール遊び・誕生会	レッツ イングリッシュ・クッキング
9月	火災総合訓練・誕生会	クッキング
10月	ハロウィン・誕生会	亀の子祭参加・マジックショー
11月	誕生会	クッキング・作品展
12月	クリスマス会・大掃除・凧作り・誕生会	クッキング
1月	初詣・書初め・凧上げ・誕生会・もちつき会参加	クッキング・スポーツ大会

開催月	内容	コロナ対応のため中止事業
2月	節分	
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お楽しみ会	クッキング
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館	

8) 支援活動内容

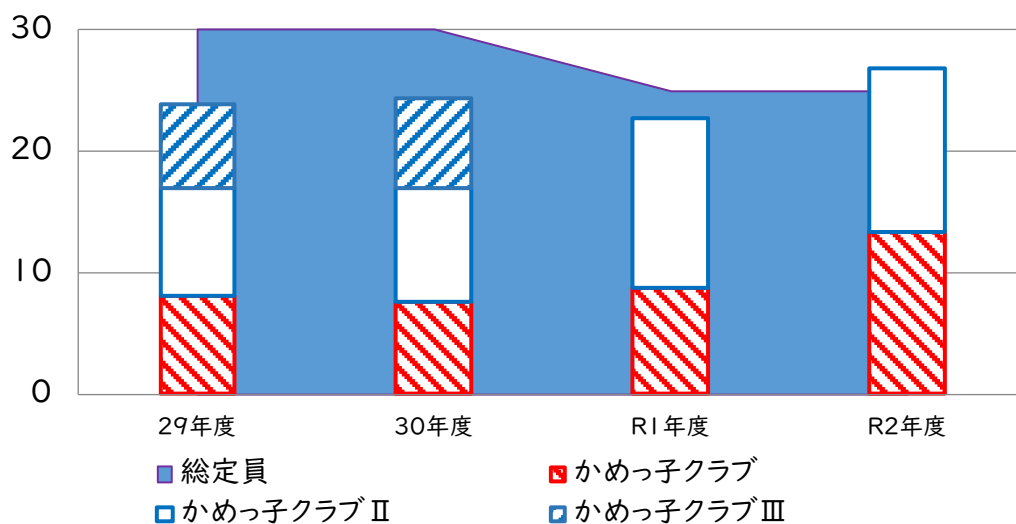
- ①保護者や市内小中学校・出雲養護学校など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	25	25	24	27	23	26	23	22	26	24.5
利用児童数	26	22	24	24	24	25	24	24	25	26	23	27	24.5
延べ利用児童数	347	289	334	327	392	296	337	305	358	324	279	370	329.8
1日当たり利用児童数	13.9	12.6	12.8	13.1	15.7	12.3	12.5	13.3	13.8	14.10	12.7	14.2	13.4

総定員と1日平均利用者数



(4) メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めています。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

(5) 苦情解決

令和2年度は、利用者からの苦情申し立てがございませんでした。

(6) 職員

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。そして、職員の資質向上の為に勉強会を行う他、研修会へも積極的に参加いたしました。更に、地域社会にあっては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

1) 職員の役割

*基本理念

- ① 基本的人権の尊重
- ② 職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

2) 保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記①・②)を行いました。

- ① 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査
- ② 35歳以上の職員については、①の検査に加えて次の検査も行いました。

血液検査 ・ 心電図 ・ 胃検査

- ③ 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。

- ・ 亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)
- ・ 遊亀館(配食サービスの従業員・魚の屋委託業務の利用者及び職員)
- ・ たから保育園職員
- ・ かめっ子クラブ職員(おやつの製造担当職員)

3) 勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

(7) 非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実に努めました。

1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、月1回の自主点検及び年1回の職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。

2) 避難訓練

①内 容：総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。

②開催日：(火災総合訓練) 9月8日

3月25日

(防災・消火避難訓練) 毎月(たから保育園)

(夜間避難訓練) 3月25日(タートルホーム)

(水害避難訓練) 5月12日

3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

6. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の活動に参加または、実施を行いました。

内 容	実施事業所	実施日 又は回数	人数
大田市海岸を美しくする活動 (海岸一斉清掃)	法人全体	R2.7.5	33
島根県総合防災訓練	法人全体	R2.10.18	2
クリーン活動(町内のゴミ拾い)	ふぁみりーわーく	R2.11.21	16
応援グッズ作成ボランティア (マスク作り)【64枚作製し社協へ】	ふぁみりーわーく	通年	---
「ふれあい長久会」の高齢者との交流 (ブームワッカー)	ふぁみりーわーく	R2.12.2 R3.2.5	延べ 14
町内ごみ拾い(エコ)活動	のほほん	6回	延べ 26
自閉症部会	かめっ子クラブ	7回	延べ 9
めだか教室	かめっ子クラブ	7回	延べ 12